



▲根白石中学校2年生25人が、全身を使って舞い踊りました

根白石中学校では、総合的な学習の時間を活用し、江戸時代から泉区福岡地域に伝わる県指定無形民俗文化財「福岡の鹿踊・剣舞」の習得に取り組んでいます。鹿踊は五穀豊穡、剣舞は、悪霊退散・天下太平を祈願するもので、県内の複数の地域で傳承されています。伝統芸能への理解を深めるため、9月5日に「行山流水戸辺鹿子躍」の傳承に取り組む志津川高校の生徒と、南三陸町・志津川自然の家で交流会を行いました。しの笛のゆったりとした音色に合わせ、鹿の頭を付けてしなやかに踊る根白石中学校の演舞に対し、志津川高校は、激しく太鼓をたたきなが

市政トピックス 伝統芸能を継承—中高生の交流会を行いました



▲ポスター(左)、ステッカー(右)等は、仙台商工会議所ホームページ(https://www.sendaicci.or.jp/)からダウンロードできます

市は、新型コロナウイルスの感染防止対策と地域経済再生の両立を図るため、仙台商工会議所およびみやぎ仙台商工会と共同で「仙台 感染症対策・地域経済循環プロジェクト」を開始しました。キーワードは「思いやり」。相手に心を尽くすという気持ちを「想」の漢字で表現し、企業の経営を支えつつ、地域を挙げて継続的に感染症対策に取り組めます。9月上旬から、啓発ポスターとステッカーを2万超の市内事業者に配布。お店には消毒や換気を、利用者にはマスクの着用などを促し、「迎え入れる側」と「迎えら

市政トピックス 「思いやり」の気持ちで 感染症対策と地域経済の再生を

れる側」の双方が「思いやり」の気持ちを持って行動することを呼び掛けています。

また、飲食・宿泊業界の団体がまとめた感染防止対策に関するガイドラインの内容を解説したガイドブックも作成。基本的な注意事項をイラスト入りで分かりやすくまとめており、全ての業種で活用できる内容となっています。このほか、宴席の需要回復のためホテルの利用体験会の開催や、感染防止対策を行う飲食店のPR等を実施していきます。

地元経済界、市民、行政等が一体となって、一人一人が互いに心を配り、優しさと活力に満ちた地域社会を目指します。

市政トピックス 応急手当を身近に—救急体験のイベントを開催

9月6日、12日の救急医療週間に合わせて、家庭内での事故やけがを予防するための予防救急や心肺蘇生法を体験できるイベント「いざみ救急ひろば」が9月6日にイオンタウン仙台泉大沢店で開催さ

市政トピックス



▲心肺蘇生法を行う従業員(中央)と119番通報で容体を伝える従業員(右)

れました。店内でお客様が急に倒れたという想定で、従業員が119番通報とAEDを使用した心肺蘇生法を行い、救急隊に引き継ぐまでの訓練を実施。周囲に「離れてください!」と大声で注意を促しながら、AEDの電気ショックをかけるなど、従業員の皆さんは本番さながらの真剣な表情と俊敏な動きで取り組んでいました。そのほか、会場には家庭内でのけがの予防方法を学ぶことができ

市政トピックス 「ハツ森号」発進! 新川地区で地域交通の試験運行開始

最寄りの駅やバス停が遠い、道路が狭くて路線バスが通れないなど、日常生活に必要な移動手段に

課題がある地域で、既存の公共交通を補完する交通手段である「地域交通」。市では、地域が主体となり、地域交通を導入する団体に



▲タクシー型で小回りがきく「ハツ森号」

3.11 震災文庫を 読む 35



七郷の今昔を記録する会/企画 タス・デザイン室 刊

「ふるさと七郷 もうひとつの仙台」



歴史学研究会/編 青木書店 刊

「震災・核災害の時代と歴史学」

東日本大震災を語り継ぐため市民図書館に設けた「3・11震災文庫」。所蔵する約1万冊から、よりすぐりの本をご紹介します。

過去を未来に活かす 仙台市歴史民俗資料館 学芸室長 畑井 洋樹

「仙台市役所経営プラン」に基づく令和元年度の行財政改革の実績を取りまとめました。計画に掲げる98の項目による効果額は、令和元年度が約66億円で、計画当初からの累積効果額は約217億円となっています。

市政トピックス 行財政改革の取り組みを進めています

市税や国民健康保険料等の収納率の向上

民間活力の導入

情報システム最適化の推進

◎「仙台市役所経営プラン」の実績は、市役所本庁舎1階市政情報センター、宮城野区・若林区・太白区情報センター、市ホームページでご覧いただけます

時代とともに街の風景や人々の暮らしも変わるものですが、現在も残しておきたい風習や未来に伝えておきたい地域の暮らしに對する想いが感じられる良書です。

仙台市若林区の七郷地区を中心に、地域の景観とそこに暮らす人々の生活や日常の生活を記録した一冊です。27年前の発行ですが、明治生まれの方も多くご存命の時代で、今では失われた行事や生活習慣なども見られます。語り口を活かした本文を読んでいると、その人から実際にお話を伺っているかのような感覚になります。震災以前の暮らしに残されていた、地域の文化を実感をもって捉えることができます。

東日本大震災は学問の世界にも大きな衝撃を与えました。特に歴史学では、過去の自然災害の記録から得られていた成果を現代社会の問題として十分に提起できていなかったことが明らかとなりました。また、核開発の歴史に現れていた原子力利用に伴う危険性も科学技術が示す明い未来像の下で顧みられてい

●紹介した本は、市民図書館でご覧いただけます 問市民図書館 ☎261・1585